



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

# 会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST  
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>



# 11

 2007, NOVEMBER  
第1742回例会

平成19年11月22日



2007年11月

## ロータリー財団月間



会 長	茨木 雅敏	広報委員長	奥 敏則
副 会 長	近藤 誠勝	広報副委員長	小甲 哲士
副 会 長	千葉 清孝	委 員	渡部 省一
幹 事	三野宮 功	委 員	久保 且佳
会 計	大沢 剛	委 員	田中 利昭
S A A	本田美喜男	委 員	北川 勝啓

### ■会長報告

副会長 近藤 誠勝



こんにちは。本日、茨木会長は私用のため休会とのこと、本日会長報告をさせていただくことになりました。今日は、RI第2500地区海田ガバナーが提唱されている「自然環境にロータリーを活かそう」という事について私的にお話をさせていただきます。自然は人を育て、環境は人を育むと言われます。私は、人は自然を破壊し、人類を自ら苦しめると置き換えることが出来ると考えます。人類、ホモサピエンス（直立歩行、脳の発達、手を巧みに使い道具を作るそして使用する）が、進化の歴史を変え、火を知ったことから自然破壊が始まるのではと思います。住みよい環境を求め、豊かな家族構成を求め、衣食住を進化させ共存する社会と変化をするこの時代まで、自然環境は人類に活かされていた時代であった。しかし、人間は戦いの動物である。地域社会の争いが火を使うことによって、どれだけ自然破壊を重ねて行っているか、今も地球上では続いている。その争いのエネルギーをCO2に換算すると、気の遠くなる数値であることはいうまでもない。癒される環境を求め、もっと原状回復することが、これからの人類の目標ではと思います。子孫のため、そして私共の為に、このロータリーのテーマは全世界にアピールする題材であって欲しいものと考えます。以上で会長報告とします。

### たいまつ宣言

この「たいまつ宣言」は創立30周年にあたり、西ロータリークラブの創立の心を知るところから発し、我々が未来へ向けての道標とするものである。たいまつのように我々の行く道を照らし、明るい未来へと導くものである。

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

### ■出席状況報告

月/日	10/4	10/11	10/18	10/25
例 会	1735回	1736回	1737回	1738回
総会員数	73名	73名	73名	73名
計算に用いる 参加者	65名	65名	65名	65名
ホームクラブ出席	47名	47名	44名	36名
メークアップ総額	16名	15名	20名	27名
欠 席 者	2名	3名	1名	2名
出 席 率	96.92%	95.38%	98.46%	96.92%

### ■ニコニコ献金

11月22日 9,000円 累計 174,000円

### ■今月の主な行事

11月 1日 誕生・結婚祝  
8日  
15日  
22日  
29日 夜間例会



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

点 鐘  
開会宣言  
ロータリーソング (それでこそロータリー)  
(会 食)  
会長報告  
会務報告

近藤誠勝副会長  
佐々木和彦副SAA

近藤誠勝副会長  
三野宮功幹事

- ①帯広北RC、11月23日(金)は祭日のため休会と致します。
- ②帯広西RC、夜間例会開催のご案内  
日 時 平成19年11月29日(木)午後6時30分  
場 所 ふじもり  
○当日は、アルコールのご用意を致しております。
- ③帯広南RC、夜間例会開催のご案内 (年末家族会)  
日 時 平成19年12月3日(月)午後6時  
場 所 北海道ホテル
- ④帯広RC、夜間移動例会開催のご案内 (年末家族会)  
日 時 平成19年12月12日(水)午後6時  
場 所 北海道ホテル
- ⑤帯広西RC、年次総会開催のご案内  
日 時 平成19年12月6日(木)午後0時30分  
場 所 北海道ホテル

委員会報告

親睦活動委員会 安原明彦委員長

12月13日年末家族クリスマスパーティーの出欠確認の案内ならびにクリスマスカード発行のお知らせ。

ニコニコ献金

親睦活動委員会 横田幸宏委員

三野宮功会員

今日のプログラムで卓話をいたします。眠らないで下さい。

郷 清吉会員

大沢 剛会員

天野清一会員

お久しぶりです。孫が無事2歳の誕生日を迎えました。成長が楽しみです。本日は、青少年奉仕委員会の担当プログラムです。第一回目は、ローターアクトとの合同例会で、今日は、当クラブ幹事三野宮功会員にお願いして、モルドバ紀行のお話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。



出席報告

プログラム

出席委員会 青少年奉仕委員会 天野清一委員長

こんにちは。青少年奉仕委員長の天野です。今回で2回目の担当例会となりますが、本日は、三野宮功会員にモルドバ紀行と題しましてお話をさせていただきます。三野宮会員は、1988年入会以来、理事暦4回、委員長暦1回、今年度は幹事と数多くの役歴をされ、2006-2007年2007-2008年と、地区の国際青少年交換委員会委員長として、国際的に、また青少年のほうには常に関わっていただいております。そこで当委員会は、三野宮会員に豊かな体験や知識を当クラブで発表していただきたいと思っております。今日はスライドを使いながら発表させていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。



「会員卓話」

【モルドバ紀行】

改めましてこんにちは。今日は、青少年委員会の担当例会ということで、青少年奉仕についてお話をするよりは、今年度の天野委員長、前年度の山本委員長、その前は私で、その前の奥委員長などの活動により、取り組みを見て、今日は委員会の仕事などについて話すよりも視点を変えて、この前交換学生できましたベロニカさんの国でありますモルドバ共和国に今年の5月に行きまして、その時のお話を写真を見ながらしたいと思います。モルドバ共和国というのは、ロシアの西側のほうに有り、行った時は、成田からオーストリアのウィーンに12時間

三野宮 功会員



ほどかけて快適なジェット機で行き、ウィーンからはビックリする様なおんぼろの双発のモルドバエアーの飛行機で、窓から外を覗くと機体の一部が継接ぎだらけで、横風を受けても流されているのが分かるくらいのものでした。心配はしましたが、長旅の疲れで寝てしまい、目を覚ますとモルドバのキシノウの空港に着いていました。モルドバは、ルーマニア・ウクライナ・黒海にはさまれたところにある小さな国です。人口は400万ぐらいで、これといった産業も無いですが、恵まれた大地で農業が主たる産業です。と言っても、小麦とかを多く作っているわけではなくて、ブドウ畑ばかりでワインが美味しい国です。通訳をかって出してくれたのは、モルドバのお役人さんでガブリエラさんといいますが、ルーマニア語から英語を介して行いました。着いた翌朝にホテル周りの通り歩いてきましたが、通りの看板はロシア語とアルファベットの両方で表記されています。人はちゃんと住んでいるのですが、かなりメンテナンスが必要な家ばかりでした。電気で走るトロリーバスは、どこまで乗っても日本円で10円です。小学校から高校まで一貫教育している学校を訪問してきましたが、やはり紹介される学校は、国からも評され優秀な生徒ばかりいる学校でした。漢字で黒板に自分の名前を書いたりして自己紹介をしましたが、生徒たちと話をすると日本のことをかなり正確に知っていましたし、された質問もかなり突っ込まれました。黒板はつるつるで、チョークも粗悪なものですから、なかなか書けないですね。ですから、黒板を濡らして、濡らしたところに書くんですね。この学校では芸術に力を入れているそうです。次に紹介された学校は、トルコの語学学校で、外国語に力を入れているんだそうです。ただ、祝日の前の日だったために、生徒たちは早めに下校しようとしていたところを、捕まえて話をしてきました。日本の高校生ぐらいの生徒よりは、かなり学習意欲があるなど感じられました。街の中は、旧ソ連邦時代から露店が多く、農家のおばさんたちが自分のところで取れたものを売って、現金収入として生活しています。そして、ガブリエラさんに連れて行かれて是非見てくださいと言われたところが、民族博物館です。キリスト教の影響をかなり受けていますので、展示物も宗教的なものがかなり多いです。が、農家の家財道具とか、舞踊に関するもの、民族衣装などが多かったです。また、キシノウロータリークラブへ行ってきました。元大臣とか、政府要員が多かったのですが、日本でロータリーのバッジを買っていったのを皆さんに配ってきました。また、帯広西ロータリークラブのパナーも置いてきました。次に世界登録遺産に指定されている森に行ってきました。また、あちこちの修道院へ行ってきましたが、旧ソ連邦時代に崩壊してしまい、現在修復しているところが多かったです。

次にモルドバの日本交流財団と言うところに行ってきました。ここで日本語などを教えています。日本語を教える日本人の方もいらっしゃいました。そこで、ロータリーの交換学生のお話もしてきました。日本語の教えるところなどを見てきましたが、中級になると、授業はすべて日本語で行っていました。また翌日に街の中を歩きましたが、西洋の企業が進出してきて、わけの分からない建物を建てたりしていました。それから、3つ目の学校へ行きましたが、こちら小学校から高校までの一貫教育校でした。英語もかなりしゃべれて褒めると、校長先生が喜んでくれて、私の鞆持ちを始めてしまいました。実は、モルドバの文部省が薦めてくれた学校にしか行きませんでした。まだ、写真はかなりあるのですが、時間のほうが足りないようです。最後に、皆さんにお世話になったベロニカさんは、お話をする機会が無かったと思いますが、日本人に失われた素朴な心を持った子で、モルドバの人たちも本当に素朴な人たちばかりです。モルドバとの交流もこれで終わりというのではなく、また機会があればモルドバとの交流の場を設けてみたいなと思いました。以上で終わります。

閉会宣言  
点 鐘

佐々木和彦副SAA  
近藤誠勝副会長